

「算数・数学を学ぶ」ことを科学する



二宮 裕之 ニノミヤ ヒロユキ

教育学部 教授

研究分野：09教育 08国際連携・社会連携

キーワード

算数・数学教育、数学的表現、内省的記述表現活動、教育評価、国際教育協力、授業研究、文化、潜在的授業力

研究概要

学校教育における算数・数学について、「算数・数学を学ぶ」とはどのような行為であるかを科学的に探究している。その中でも特に、記述表現活動、算数・数学での妥当性の高い評価、日本の算数・数学教育の文化的特徴、日本の教師が潜在的に有する授業力、などについて研究を進めてきた。特に「潜在的な授業力」については、日米での比較研究を通してその文化的差異を背景に考察を進め、日本の先生方にとって『当たり前』であるが故に気がつかないでいる諸点を、海外からの視点から探究している。またバングラデシュやナイジェリアなどの国において、国際協力機構の理数科教育強化プロジェクトに算数・数学教育の専門家として参加している。



算数・数学科における授業研究と研究授業

研究のアピールポイント

算数・数学の授業や学習がどのように為されるべきかについて、社会の動向を踏まえ、これからの時代に相応しい教育のあり方を提案している。特に、「何のために算数・数学を学ぶのか」という目的・目標論を重視する。



国際授業研究—異文化間比較による潜在的要因の探究—